

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 2014年版

(仮称)グラディス幡町 新築工事

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳													
■1.「地球温暖化対策」の推進																		
1.1 建物の熱負荷抑制																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能								
住宅性能評価 断熱等性能等級4を取得予定	0.0	0.00																
共用部 一次エネルギー消費量 ERR=0.71	5.0	1.00	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制												
住戸 一次エネルギー消費量 ERR=0.86を確保																		
小計	5.0	0.03																
1.2 自然エネルギーの利用																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用												
特に無し																		
小計	3.0	0.07																
1.3 設備システムの高効率化																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.9	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化												
共用部 一次エネルギー消費量 ERR=0.71																		
住戸 一次エネルギー消費量 ERR=0.86を確保																		
小計	4.9	0.33																
1.4 設備システムの効率的運用																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング										
共用部 一次エネルギー消費量 ERR=0.71	3.0	0.00																
住戸 一次エネルギー消費量 ERR=0.86を確保			LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制										
小計	0.0	0.00																
1.5 資源・マテリアル対策																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	3.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水										
	3.0	0.11									1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無		
	3.0	0.05									1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無		
	3.0	0.08									2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減				
	3.0	0.15									2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用				
	3.0	0.15									2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
	3.0	0.15									2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
	2.0	0.08									2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材				
	3.0	0.15									2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				
小計	2.9	0.40																
1.6 ライフサイクルCO2排出率																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮												
共用部 一次エネルギー消費量 ERR=0.71																		
住戸 一次エネルギー消費量 ERR=0.86を確保																		
小計	4.0	0.17																
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	3.8	0.63																
■2.「ヒートアイランド対策」の推進																		
2.1 温熱環境の向上																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.45	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出												
特に無し	3.0	0.22									Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上		
	3.0	0.33									LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善		
小計	2.6	0.96																
2.2 交通負荷抑制																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制								
特に無し																		
小計	3.0	0.04																
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価	2.6	0.22																
■3.「長寿命化対策」の推進																		
3.1 耐用性の向上																		
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.18	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	1	耐震性								
住宅性能評価の劣化対策等級3を取得予定	3.0	0.27									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	2	免震・制振性能
	5.0	0.11									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数
	3.0	0.11									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	3.0	0.05									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	3.0	0.05									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔
	3.0	0.11									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.11									Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔
小計	3.2	0.35																
3.2 設備の更新性																		
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性								
特に無し	3.0	0.20									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性
	3.0	0.10									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性
	3.0	0.10									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性
	3.0	0.20									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性
	3.0	0.20									Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保
小計	3.0	0.65																
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)	3.1	0.15																
■重点項目の総平均(上記3項目)			3.4															